

東京都千代田区丸の内一丁目5番1号
三菱UFJリース株式会社
取締役社長 村田 隆一
(コード番号 8593 東証・名証第1部)

お問合せ先

広報IR部長 太田尚志

TEL 03-6865-3002

新中期経営計画「Vision2013」及び組織の改編に関するお知らせ

当社は、総合ファイナンスカンパニーとして更なる飛躍を遂げるべく、中期経営計画「Vision2013」(2011年度～2013年度)を策定し、今年度からスタートさせましたので、その概要についてお知らせいたします。

中期経営計画「Vision2013」は、前中期経営計画の枠組みを活用しつつ、これまで取り組んできた成長戦略及び経営基盤強化戦略を更に進化させた上で、事業環境やお客様のニーズに対応するべく、新たな施策を追加設定したローリングプランとして推進してまいります。これらの戦略施策を着実に実行していくことで、事業基盤の一層の拡大を図り、持続的な成長を目指してまいります。

1. 新中期経営計画「Vision2013」(2011年度～2013年度)の概要

(1) 経営理念

ステイクホルダーの皆様からの信頼に応え、社会と共に持続的な発展を目指すために、以下の経営理念を掲げております。

お客様、株主様、社員からの信頼に応え、豊かな社会の実現に貢献します。

- ① お客様にベストソリューションを提供し、企業価値の持続的向上に努めます。
- ② 法令を遵守し、環境に配慮した企業活動を通じ、地域・社会の発展に貢献します。
- ③ 社員一人ひとりが意欲と誇りを持って活躍できる環境を提供します。

(2) 経営ビジョン

当社グループが中長期的に目指す姿として、以下の経営ビジョンを設定しております。

「金融と商流を融合した事業金融分野で圧倒的なリーダーを目指す。」
高度で洗練された「事業金融機能」の提供を通じて、「モノ」、「サービス」、「情報」、「資金」、といった「財」を相互に結びつけるコーディネータとなり、お客様にとって真に価値あるサービスを提供し、すべてのステイクホルダーに貢献する企業であることが、三菱UFJリースの存在価値です。

(3) 経営戦略／成長戦略

当社は、総合ファイナンスカンパニーとして事業基盤を拡大するために、以下の成長戦略を掲げております。また、今後の成長が期待できる重点分野を設定し、各種施策を強力で推進してまいります。

① バリューチェーン上の提供機能拡大と多様なアセットリスク・事業リスクテイクによる三菱UFJリースならではのサービス拡大

多様なバリューチェーン上に存在するビジネスシーンに対して、「モノ」をベースとした三菱UFJリースならではのサービスをご提供いたします。

(重点分野)

コア事業（リース等）、省エネ・環境事業、国際事業、グローバルアセット、仕入・販売・査定、資産管理、医療・介護

② グローバルベースでの事業展開の加速

ネットワークやチャンネルを最大限活用すると共に、アライアンスの強化、提供サービスの充実化を図ることで、アジアや欧米等で事業展開される日系・非日系のお客様との取引基盤の拡大を強力で推進してまいります。また、成長が期待できる省エネ・環境分野では当社が培ってきた強みを発揮し、グローバルベースでの取り組みを加速してまいります。

③ お客様接点の強化

事業分野やお客様の層に応じた営業体制の強化、提案力の向上を進めていくと共に、営業現場のサポート体制を一層充実させることで、国内外の営業生産性を高めてまいります。

④ 外部成長戦略の推進

コア事業の基盤拡大に留まらず、機能拡充や事業領域の拡大に繋がるアライアンスやM&A等については、引き続き積極的に取り組んでまいります。

(4) 経営戦略／経営基盤強化戦略

成長戦略を支える経営基盤を一層強固にするために、以下の経営基盤強化戦略を掲げております。

① 経営管理の高度化

グローバルベースでアセットファイナンスを強化推進していくために、多様なアセットに対するリスクマネジメントを一層高度化させてまいります。

② 営業力の強化と手法の高度化

多様化・高度化するお客様のニーズにお応えするために、事業分野或いはお客様セグメントに応じた商品サービスの充実化と提案力の強化を図ってまいります。

③ 効率性の追求

バックオフィス機能の拡充やコールセンターの最大活用等により、営業効率の向上を追求してまいります。

④ IT戦略の強化

事業展開の加速に向けて、グローバルベースでITインフラの増強を進めてまいります。また、商品サービスの拡充や制度変更への対応力を一層強化してまいります。

⑤ 新たな企業風土の醸成

縦横さまざまなコミュニケーション機会を継続的に創出していくことで、迅速性と柔軟性を兼ね備えた新たな企業風土の醸成に取り組んでまいります。

⑥ 人材マネジメントの改革

成長戦略の推進に向けて、グローバル人材や専門人材の獲得・育成を加速すると共に、マネジメント層も含めた育成プログラムの高度化、多様化する人材の最大活用にも取り組んでまいります。

2. 組織の改編について

前記の新中期経営計画「Vision2013」を推進するにあたり、5月16日付で以下の通り組織の改編を行います。

(1) 専門事業カンパニーの再編

戦略事業の強化に向けて、環境変化に機動的に対応できる組織体制を構築することと、各事業分野における専門性を一層向上させることを目的として、現行の3カンパニー体制を4カンパニー体制に変更いたします。

(現行)

カンパニー区分	所属部店
第一専門事業カンパニー	ストラクチャードファイナンス部、船舶営業部
第二専門事業カンパニー	不動産ファイナンス部、不動産プロジェクト部、環境事業部、医療福祉部
第三専門事業カンパニー	オペレーティングリース営業部、産業機械部、機械営業部、サービス事業部 市場開発部、e-ビジネス推進部

(変更後：5月16日付)

カンパニー区分	所属部店
第一専門事業カンパニー	ストラクチャードファイナンス部、船舶営業部
第二専門事業カンパニー	不動産ファイナンス部、不動産プロジェクト部、オペレーティングリース営業部
第三専門事業カンパニー	環境事業部、医療福祉部、産業機械部
第四専門事業カンパニー	機械営業部、サービス事業部、市場開発部、e-ビジネス推進部

(2) 組織の新設、機能強化等

① 海外事業部内に「リサーチ&サポート室」を新設

国際事業の展開を加速することを目的として、新興国を含めた各国調査機能の強化とお客様ニーズに応じた商品サービスの充実化を図るために、海外事業部内に「リサーチ&サポート室」を新設いたします。

② 「リース資産統括部」を機能強化し、「アセットマネージング部」に改称

グローバルアセットを含めたアセットファイナンスの拡大に向けて、アセットのリスク管理を一層高度化するために、「リース資産統括部」の機能を拡充し、「アセットマネージング部」に改称いたします。

③ 医療福祉部を機能強化／「事業開発課」を新設し、「営業課」を「アライアンス推進課」に改称

重点分野である医療・介護分野において、商品サービスの更なる充実化を図ると共に、ビジネス機会の拡大・創出に取り組むために、医療福祉部内に「事業開発課」を新設いたします。また、従来から推進してきた有力医療機器メーカー等とのアライアンスを一層強化するために、「営業課」を「アライアンス推進課」に改称いたします。

④ 経理部内に「IFRS室」を新設

IFRSに対する組織体制の強化を図り、IFRSの動向に応じたお客様へのサポートを一層充実させるために、経理部内に「IFRS室」を新設いたします。

⑤ 人事部内に「ダイバーシティ推進室」を新設

グローバル人材の育成に注力することに加え、戦略事業で活用する専門人材の充実化、及び社員のワーク・ライフ・バランスを積極支援することを目的として、人事部内に「ダイバーシティ推進室」を新設いたします。

⑥ 審査部門の改編／「審査第一部」、「審査第二部」、「審査第三部」を改編し、「審査第一部」、「審査第二部」とする。

戦略事業の強化推進を目的として、与信管理機能及び審査企画機能の更なる向上と、審査体制の一層の効率化を図るために、「審査第一部」、「審査第二部」、「審査第三部」を改編して「審査第一部」、「審査第二部」とし、各種審査機能を集約化いたします。

⑦ 「熊本営業所」を廃止

情報集約によるお客様への対応力強化、及び営業効率の向上を目的として、「熊本営業所」を廃止いたします。

以 上